

# Rutsuko Yamagishi 山岸ルツ子



カナダ、バンクーバー生まれ。3歳よりピアノを始める。  
6歳より父の赴任先マニラ市に転居。元スペイン総督の長女でピアニストのStella Goldenberg Brimolに師事。9歳の時にマニラ市パコパークにおいてリサイタルを行い現地の教育テレビにて全国放映される。  
桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科で学び、19歳よりバンクーバーに留学、ユージン・スコボロドウニコフに師事。ロシア・レンジングラード派の基礎を学ぶ。  
97年巨匠ラザール・ベルマンの下に弟子入り。以後師の亡くなる05年まで8年間に亘り師の最後の弟子としてイタリア、フィレンツエにて研鑽を重ねる。  
99年東京カルスホールでのデビューリサイタル以後、NHK-FM「FMリサイタル」「名曲リサイタル」、全国各地でのカワイコンサートをはじめ、イタリア「美術館の夜」コンサートシリーズへの出演、リトアニア・カウナス室内管弦楽団との共演、エストニア・D.O.オイストラフ・フェスティバルにソリストとして招かれるなど、国内外にて数多くのコンサートに出演。  
95年ローマ国際コンクール(イタリア)第3位。  
97年キワニスコンクール(カナダ)、コンチェルト・ソロ両部門において総合第1位。  
97年B.C.アソシエーション・パフォーミング・アーツ・コンクール(カナダ)第1位。  
山岸ルツ子公式サイト <http://www.rutsuko.com/>

## Siena Wind Orchestra シェナ・ウインド・オーケストラ

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、東京を本拠地に演奏活動をしており、定期演奏会のほか全国各地での音楽祭やイベントへの参加、また音楽鑑賞教室等の青少年育成事業等への出演、また管楽器の特色を生かした多様なアンサンブルユニットによるコンサートや管楽器クリニック等を積極的に展開しており、日本を代表するウインド・オーケストラとして、国内吹奏楽愛好家の先頭に立つフラッグシップオーケストラとして高い人気を誇っている。

2002年より佐渡裕を首席指揮者に擁し、また金聖響、下野竜也をはじめとする世界トップレベルの実力派指揮者を客演に迎えている。幅広いジャンルにわたる演奏レパートリー、若さ溢れるダイナミックな演奏、バリエーション豊富なパフォーマンスで話題を集めており、最近ではNHK「スタジオパークからこんにちは」「クラシック俱楽部」やテレビ朝日系列「題名のない音楽会」等に出演するなど、各メディアからも注目される存在となっている。

CDでは「プラスの祭典」「プラスの祭典2」「プラスの祭典3」「リードリード!!リード!!」、「ジョン・ウイリアムズ吹奏楽ベスト」「バーンスタイン・オン・プラス」が、またDVDでは「プラスの祭典ライヴ2004」「アフリカン・シンフォニー」「プラスの祭典ライヴ2006」「バーンスタイン・ガラ 热狂ライヴ!」があり、本年1月に発売されたディズニーオフィシャル吹奏楽CD「Disney on Brass」はセンセーションを巻き起こしている。

シェナ・ウインド・オーケストラ公式サイト <http://sienawind.com/>

## Toshihiko Matsunuma (Conductor) 松沼俊彦(指揮者)

神奈川県生まれ。5歳よりピアノを、13歳よりトロンボーンを学ぶ。1994年東京藝術大学卒業、安宅賞受賞。98年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団「第8回東京国際フォーラム定期演奏会」を指揮してプロデビュー。2000年よりウィーン国立音楽大学に籍を置き、L.ハーガー、E.アッチャエル、湯浅勇治の各氏に師事し、またプロ・アルテ・オーケストラ・ウィーンを指揮するなどヨーロッパ各地で研鑽を積む。02年1月より2003年3月まで大阪シントニカ交響楽団副指揮者を務める。02年5月ハンガリー・ブダペスト国際指揮者コンクールで第1位、04年第1回マーラー国際指揮者コンクールで第3位を受賞し注目を集め。これまでに、海外ではハンガリー・セゲド交響楽団、マーヴィ交響楽団、北ハンガリー交響楽団、ドホナーニ交響楽団、ブダペスト・フィル、ルーマニア・ブラショフ「ヨルジュ・ディマ」フィルハーモニー管弦楽団、エジプト・カイロ交響楽団、オランダ・アムステルダム交響楽団等、国内では東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団、大阪シントニカ交響楽団等に客演している。

## Rubén Simeó (Trumpet) ルベン・シメオ(トランペット)

1992年スペインのヴィーゴ生まれ。トランペット教師である父ホセ・シメオのもとで音楽を学び始める。幼少より非凡な才能をあらわしたルベン・シメオはすぐさまコンサートやテレビ番組で天才トランペット少年として紹介される。わずか8歳でヴィーゴ市主催の「国際音楽コンクール」で1位を獲得。2002年にマドリッドで行われた「国際ヤマハ・コンクール」では10歳の若さで1位を獲得。11歳のときに出演したスペインのテレビ番組を通じて彼の名前は瞬く間にスペイン中に知れわたり、多くの音楽ファン、音楽評論家、音楽関係者たちの注目を集め。12歳でCDデビュー。05年、13歳の時にモーリス・アンドレに招かれてフランスのボルドーで開かれた国際トランペット週間に参加し、その才能は多くの人々に大きな驚きを与えた。これまでにイタリア、フランス、ドイツなど各地の国際音楽祭に招かれ、その卓越した演奏技術と成熟度の高い音楽的解釈は高く評価されている。現在はスペイン、バレンシアに在住。巨匠モーリス・アンドレの只ひとりの生徒として研鑽を積んでおり、将来の活躍が大いに期待されている。本年エイベックスからリリースされた日本デビューCDでも大きな話題となっている。

第6回フィリップ・ジョーンズ国際コンクール(フランス) 第2位。

モーリス・アンドレ国際コンクール(フランス) 第2位。

ルベン・シメオ公式サイト <http://www.rubensimeo.es>



慶應義塾創立150年記念

## 『藤原洋記念ホール』開設記念 「柿落とし」イベント

2008.9.27